

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【たちばな小学校】

<第3学年：昔のたちばなにタイムスリップ>

自分たちが住んでいる地域のよさを知り、愛着をもつことができるよう、地域にある施設や歴史について、調べ学習を行った。

昔の地域の様子を調べる活動では、地域の高齢者を招いてお話を聞いた。昔の学校や地域の様子、遊びや暮らしなど、当時の人々の様子や思いを想像しながら聞くことで、今の自分たちの暮らしと比べて、昔と今のそれぞれのよさや違いに気付くことができた。

児童たちは、資料だけでは分からない貴重な話を聞き、課題についてより深く迫り、主体的に学習を進めることができた。



<第4学年：人にやさしい町づくり>

体の不自由な人の生き方にふれ、「人にやさしい町づくり」とはどのようなものかを考える学習として、福祉体験活動を行った。

松山市社会福祉協議会から4名の講師の方に来ていただき、手話、点字、ガイドヘルプを体験した。

活動を通して、体の不自由な人の日常生活の様子を知ったり、交流をしたりすることで、共に生きていくために自分たちにできることは何かを考えることができた。



<全学年：栽培活動>

年間を通じて、各学年で季節に応じて花を選び、一人一鉢による栽培活動を行っている。児童たちは、熱心に水やりを行ったり成長を見守ったりしながら愛着をもって世話をしている。

栽培委員会は、常時活動として、毎朝の水やりを輪番で行っている。委員会活動の時間には、草引きや花がらつみ、季節に合った花の植え替え等意欲的に活動している。

継続した栽培活動を通して季節を感じるとともに、草花への興味関心を高めている。

